

## アーツカウンシル東京 2026年度 事業ラインアップ発表

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京は、このたび、2026年度の事業ラインアップを決定しましたのでお知らせします。

### <2026年度のトピック>

#### ■子供たちへ文化体験を届ける取組を推進

2025年6月、より多くの子供たちに文化体験を届けるための東京こども芸術文化プラットフォーム『TOKYOカルチャーデビュー』を立ち上げました。こちらでは、美術、音楽、演劇、伝統芸能など多様なジャンルで子供自らが作品をつくったり、舞台に立ったり、良質な体験に触れられるよう、都内の団体や企業などの協力も得ながら、プログラムの開発や広報、人材育成などを一体的にコーディネートします。本事業を軸に、2024年度より開始した「ネクスト・クリエイション・プログラム」をはじめとするアーツカウンシル東京の子供向け体験事業や、各都立文化施設で実施する事業を通じて財団全体で取組を強化していきます。

#### ■アート活動を支える人材の育成を強化

アーティストの創造活動を支援するとともに、芸術文化の担い手育成にも力を入れています。2025年度は、芸術文化分野でのアクセシビリティコーディネーター講座や、子供向け芸術文化体験コーディネーター「ことととて」養成プログラムをスタートしました。2026年度は新たに、**アート領域とビジネス領域をつなぐ人材養成プログラム（仮称）**を立ち上げる予定です。

事業の詳細は、別添の事業一覧をご覧ください。

1. 芸術文化活動の創造支援:「助成」「活動支援」「人材育成」
2. 体験機会の創出とコミュニティ形成:「キッズ・ユース向け事業」「地域連携」
3. 東京の芸術文化の発信:「フェスティバル」
4. 芸術文化による共生社会の推進:「クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー」
5. 先駆的取組の実践:「TOKYO スマート・カルチャー・プロジェクト」「シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]」  
「社会課題に応じたパイロットプログラム」
6. ネットワーク形成

#### ●アーツカウンシル東京

世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。新たな芸術文化創造の基盤整備をはじめ、東京の独自性・多様性を追求したプログラムの展開、多様な芸術文化活動を支える人材の育成や国際的な芸術文化交流の推進等に取り組めます。

<https://www.artscouncil-tokyo.jp>

※これらの情報は2026年3月31日現在のものであり、内容は変更になる場合があります。

<本リリースに関するお問い合わせ>

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 企画部広報課 担当:長澤、柳生  
TEL:03-6256-8432 E-mail:press@artscouncil-tokyo.jp

**1 芸術文化活動の創造支援**

アーティストの創造活動や芸術文化の担い手を支える多面的・多層的な支援を行うとともに、文化事業に携わる人材の育成に取り組みます。

**助成**

東京の芸術文化の魅力を向上させ、世界に発信していく創造活動や、地域の文化や伝統芸能の振興、社会や都市の様々な課題に取り組む芸術活動を支援するため、それぞれの目的に応じた助成プログラムを実施します。

事業名	実施場所	対象期間（予定）
東京芸術文化創造発信助成 カテゴリーⅠ [単年助成] 芸術創造活動	都内 又は海外	第1期：2026年7月1日～2027年6月30日 第2期：2027年1月1日～2027年12月31日
東京都内で実施する上演・コンサート・展示・上映・アートプロジェクト、その他の多様な創造活動や、国際的な創造活動・発信活動を支援します。若手からベテランまでキャリアごとに助成のポイントを設定し、特に、若手・中堅を重点的に支援します。		
東京芸術文化創造発信助成 カテゴリーⅡ [長期助成] 芸術創造活動	都内 又は海外	(2年間) 2027年1月1日～2028年12月31日 (3年間) 2027年1月1日～2029年12月31日
東京における多様な創造活動や、国際的な創造活動・発信活動を支援します。若手からベテランまでキャリアごとに助成のポイントを設定し、特に、若手・中堅を重点的に支援します。 [長期助成] では、発表活動だけでなく、リサーチや試演など作品制作等のプロセスも含め、2年間又は3年間の継続的・段階的な取組を必要とする事業を助成します。		
東京芸術文化創造発信助成 カテゴリーⅢ [単年助成] 創造環境向上活動	都内 又は海外	第1期：2026年7月1日～2027年6月30日 第2期：2027年1月1日～2027年12月31日
東京における芸術創造環境の現状と課題を捉え、課題解決に実践的に取り組むことにより、アーティストをはじめとする様々な創造活動の担い手の創造環境向上に資する活動を支援します。		
東京芸術文化創造発信助成 カテゴリーⅢ [長期助成] 創造環境向上活動	都内 又は海外	(2年間) 2027年1月1日～2028年12月31日 (3年間) 2027年1月1日～2029年12月31日
東京における芸術創造環境の現状と課題を捉え、課題解決に実践的に取り組むことにより、アーティストをはじめとする様々な創造活動の担い手の創造環境向上に資する活動を支援します。 [長期助成] では、2年間又は3年間の継続的な取組を支援します。		

事業名	実施場所	対象期間（予定）
東京芸術文化創造発信助成 カテゴリーⅣ〔長期助成〕 海外映画祭参加活動	都内 又は海外	(2年間) 2027年1月1日～2028年12月31日 (3年間) 2027年1月1日～2029年12月31日
海外映画祭での上映を目指し、海外映画祭用の上映素材のポストプロダクションを行う活動を2年間又は3年間支援します。若手からベテランまでキャリアごとに助成のポイントを設け、特に、若手・中堅を重点的に支援します。		
芸術文化による社会支援助成	都内 又は海外	第1期：2026年7月1日～2027年6月30日 第2期：2027年1月1日～2027年12月31日
東京を拠点とする芸術団体や中間支援団体、福祉団体、NPO等を対象とし、様々な社会環境にある人が共に参加し、個性を尊重し合いながら創造性を発揮することのできる芸術活動や、芸術文化の特性を活かし社会や都市の様々な課題に取り組む活動を支援します。2026年度は子供の芸術鑑賞や体験機会の格差解消に取り組む事業を重点的に支援します。		
地域芸術文化活動応援助成	都内	第1期：2026年4月1日～2027年3月31日 第2期：2026年10月1日～2027年9月30日
東京都内の各地域の特色ある文化の醸成・発展を促進する芸術文化活動や、各地域の文化財や文化資源を未来に向けて継承し、その魅力を地域内外に広く発信する取組を支援します。		
スタートアップ助成	都内 又は海外	第1回：2026年9月1日～2027年8月31日 第2回：2027年1月1日～2027年12月31日 第3回：2027年5月1日～2028年4月30日
東京の芸術シーンで活動を展開していこうとする新進の芸術家や芸術団体等がチャレンジする新たな芸術創造活動を支援します。東京都内又は海外で実施される公演、展示、アートプロジェクト、国際フェスティバルへの参加、国際コラボレーション等を対象とし、若い才能が今後の芸術活動への地歩を築くためのスタートアップを後押しします。		
伝統芸能体験活動助成	都内	2026年9月1日～2027年8月31日
伝統芸能の様々な種目について、初めての人でも入り易く、ひとりの参加者が同一の種目の実技を複数回にわたって自ら体験することができる事業を支援します。伝統芸能の面白さを体感する機会を提供し、伝統芸能が暮らしの中に根付き日常的にお稽古に通う人の拡充へとつなげることで、伝統芸能の振興を図ることを目的とします。		
芸術文化魅力創出助成	都内	第1期：2026年7月16日～2027年7月15日 第2期：2026年12月16日～2027年12月15日
東京都内において実施される、多くの団体や参加者が共に作り上げる様々なジャンルのフェスティバルやアートプロジェクト等の創造活動、東京の魅力として発信力・持続力のある革新的なプロジェクト等の経費の一部を助成します。		

事業名	実施場所	対象期間（予定）
芸術文化魅力創出助成 TOKYO CITY CANVAS 助成	都内	第1期：2026年10月1日～2027年9月30日 第2期：2027年3月25日～2028年3月24日
東京都内において実施される、民間の工事現場の仮囲い等を活かし、アートによって魅力的な空間を創出し、インパクトある都市の新しい景観を生み出すアートプロジェクト等に係る経費の一部を助成します。		
ライフウィズアート助成	都内	2026年9月1日～2027年8月31日
アート作品を日常生活に根付かせ、アーティストの活動領域を広げることで、芸術文化に携わる人材を増やし、好循環を生み出す取組・基盤整備を支援するため、経費の一部を助成します。		
東京ライブ・ステージ応援助成	都内	第1期：2026年8月1日～2027年7月31日 第2期：2026年12月20日～2027年12月19日
東京における舞台芸術鑑賞機会の増加を図るため、中堅からベテランまで、実績ある団体により企画される、高い実現性と品質を兼ね備えた舞台芸術活動を対象に、公演に係る経費の一部を助成します。2026年度からは装いを新たに、2つのカテゴリでの公募となります。カテゴリIでは多様な公演の提供機会の中核を担う中小規模団体による公演活動を、カテゴリIIでは波及力を有する公演の提供機会の中核を担う動員人数の多い公演活動をそれぞれ支援します。		
東京芸術文化鑑賞サポート助成	都内	2026年7月1日～2027年6月30日
だれもが芸術文化を楽しむことができる社会を実現するため、芸術文化事業を実施する民間団体等によるアクセシビリティ向上を目的とした取組について支援します。サポートを必要とする鑑賞者・参加者に対する鑑賞支援の取組事例を増やし、芸術文化に触れるきっかけを生み出すとともに、芸術文化へのアクセシビリティ向上の必要性について、広く社会全体に普及していくことを目指します。		

## 活動支援

芸術文化活動に関する相談窓口や活動に有用な講座・情報提供等による総合的なサポート、都営住宅等の空き店舗を活用した創作スペースの提供などにより、アーティスト等の持続的な創造活動の環境を整備します。

事業名	実施時期（予定）
東京芸術文化相談サポートセンター「アートノト」	通年
<p>東京都内で活動するアーティストやあらゆる芸術文化の担い手の持続的な活動を支援し、新たな活動につながるプラットフォームです。オンラインを中心に、弁護士や税理士といった専門家等と連携しながら、悩みや困りごとに対応する「相談窓口」、活動に役立つ情報を届ける「情報提供」、活動に必要な知識やスキルを提供する「スクール」の3つの機能で総合的にサポートします。</p>	
<p><b>相談窓口</b></p> <p>アーティストやあらゆる芸術文化の担い手が直面する様々な悩みや困りごとについて、芸術文化の知識・経験をもつ相談員が対応し、解決に向けてお手伝いします。相談の内容によっては、必要に応じて弁護士等の外部専門家を紹介します。また、様々なイベントや会場へ出向き、対面で相談いただける出張相談も実施します。</p>	
<p><b>情報提供</b></p> <p>芸術文化活動を行ううえで生じる会計・税務、活動資金・活動場所、ハラスメントなど様々な悩みや困りごとの解決に役立つ情報を提供。公式ウェブサイト、YouTube、note、LINEなど、複数のメディアプラットフォームを活用して情報を一元的に発信します。</p>	
<p><b>スクール</b></p> <p>アーティストやあらゆる芸術文化の担い手の活動基盤の強化やネットワーキングといった活動環境の向上を目指す講座を実施。法務、会計・税務、ビジネススキル、ハラスメント防止、キャパシティビルディングなど幅広いテーマを展開。また、豊富なアーカイブを有効活用し、より深掘りする講座や、都内の芸術系大学と連携して大学生に向けた出張講座を実施します。</p>	
アーティストの創作環境の整備「START Box」	年2回程度（公募）
<p>アトリエ等を確保することが難しい若手アーティストに利用しやすい料金で創作環境を提供することで、継続的な創作活動を支援します。2023年に都営住宅等の空き店舗を活用した「START Box ササハタハツ」、 「START Box お台場」、2026年1月にはアトリエに加えてSTART Box 初となる稽古場を併設した「START Box 白鬚」をオープンしました。また、利用アーティストと地域住民等の交流を促進するためのオープンアトリエや文化イベントでの利用アーティストの作品発表等も実施しています。</p>	

## 人材育成

講座、ワークショップ、海外派遣等、様々な芸術文化分野において将来的に現場を牽引する多様な人材を育成するとともに、業界との関係構築の機会提供を行います。

事業名	実施場所	実施時期（予定）
クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー アクセシビリティ向上講座	都内	年2回程度
だれもが鑑賞しやすく、また芸術文化事業に参画できる環境創出を担うコーディネーターのための講座を実施します。アクセシビリティに関する専門的な知見をもつ方を講師に迎え、基礎的知識から実践的な内容により参加者のスキルアップを目指します。		
子供向け芸術文化体験コーディネーター 「こととて」養成プログラム	都内	未定
子供たち一人ひとりの興味や関心などを引き出し、地域のあらゆる現場で多様な子供向けプログラムが展開されるよう、現場とアーティスト等をつなぐ橋渡しができるコーディネーターを養成します。		
アート領域とビジネス領域をつなぐ人材養成プログラム（仮称）	都内	未定
芸術文化の持続的な発展に向けて、アート領域とビジネス領域をつなぐ人材を養成します。		
タレンツ・トーキョー2026		年1回（公募）
『ベルリン国際映画祭』と提携し、映画分野における東京からの文化の創造・発信を強化するため、「次世代の巨匠」になる可能性を秘めた「才能（=Talents、タレンツ）」を育成することを目的に、世界で活躍していくためのノウハウや国際的なネットワークを構築する機会を提供します。映画監督やプロデューサーを目指すアジアの若者を東京に招き、監督、プロデューサー、ワールドセールスの各部門において世界で活躍するプロフェッショナルを講師として迎え、レクチャーや企画合評会等を実施します。		

事業名	実施時期（予定）
Tokyo Artist Accelerator Program (TAAP)	年1回（公募）
<p>自立した継続的な活動を目指す美術・映像分野の若手アーティストを支援するプログラム。アーティスト自身によって作品を語るプレゼンテーションに焦点をあて、作品を語る力の向上とコンセプト強化の両面からサポートします。選考を経た支援アーティストへ、自由度の高い制作支援金を支給するとともに、現代アートの多様なスペシャリストと継続的なメンタリングを実施し、国内外の現代アート関係者へ向けて語る「TAAP Live」を創出することで、東京を起点とする若手アーティストの国際的な飛躍を支援します。</p>	
アートマネジメント人材等海外派遣プログラム	年4～5回程度（公募）
<p>東京が国内外のアートシーンの中心として世界を魅了する創造性を生み出し、東京に集積する芸術文化資源を最大限活用して、国際的なアートハブとしての機能強化を目指すため、将来アーティストと社会をつなぐ役割を担う若手アートマネジメント人材等を短期で芸術フェスティバルなどに派遣し、国際的な活動の第一歩となるよう、海外の芸術文化関係者とのネットワークをつくる機会を提供します。また、海外の先駆的な作品や創作現場に直に触れることで、国際的な視点に立った創作の機運醸成を図ります。将来的には、東京と各派遣先との連携を深め、東京と海外セクターとのネットワーク構築・強化につなげます。2026年度は派遣先を7地域（予定）へと拡大し、事業のさらなる充実を図ります。</p>	

## 2 体験機会の創出とコミュニティ形成

子供・青少年等への芸術文化の創造体験機会の提供や、地域に根づいた文化創造環境を形成し、芸術文化の普及・継承に取り組みます。

### キッズ・ユース向け事業

次世代の担い手となる子供・青少年に向け、アーティストや教育機関をはじめとしたプロフェッショナルのもとでの主体的な創造体験機会を提供し、子供たちの豊かな感性を育みます。

事業名	実施場所	実施時期（予定）
東京こども芸術文化プラットフォーム『TOKYOカルチャーデビュー』	都内各所	未定
より多くの子供たちへ文化体験を届けるためのプラットフォームです。団体や企業などの協力も得ながら、美術、音楽、演劇、伝統芸能など多様なジャンルで子供自らが作品をつくったり、舞台に立ったり、良質な体験に触れられるよう、プログラムの開発や広報、人材育成などを一体的にコーディネートする取組を推進していきます。		
キッズ伝統芸能体験	芸能花伝舎、梅若能楽学院会館、国立能楽堂、浅草公会堂ほか	2026年9月～2027年3月
伝統芸能のプロの実演家が数か月にわたり子供たちを定期的に指導し、最後にその成果を本格的な舞台上で発表します。伝統芸能の「お稽古」という形を通して、日本人が古くから大切にしてきた心や感性、礼儀作法などの文化環境を学ぶ機会を提供し、伝統芸能を次世代へ継承すると同時に、東京の文化的魅力を向上させることを目的として実施します。		
子供のための伝統文化・芸能体験事業	都内の小・中学校、高等学校、特別支援学校ほか	2026年5月～2027年2月
次世代を担う子供たちが日本の伝統文化・芸能に触れ、体験することで、日本文化の価値に対する理解を深め、多様な文化に対する幅広い知識を育んでもらうことを目的として、プロの実演家や職人を講師とする体験・鑑賞事業を学校教育と連携して実施します。		
パフォーマンスキッズ・トーキョー	都内文化施設、都内の小・中学校ほか	通年
ダンスや演劇、音楽などのプロのアーティストを、学校やホール、児童養護施設等に10日間程度派遣し、ワークショップを行い、子供たちが主役のオリジナルの舞台作品をつくり上げ、最終日に発表公演を行います。アーティストが子供の発想を活かしつつ作品を創作する過程で、子供たちの創造性や自主性を育み、コミュニケーション能力を高めます。		

事業名	実施場所	実施時期（予定）
ネクスト・クリエイション・プログラム	未定（都内）	未定

子供たちがより深く、より高いレベルで学ぶことができるよう、自らが興味関心をもつクリエイションの現場に入り、各分野の第一線で活躍するプロフェッショナルから指導が受けられる良質なプログラムを提供します。子供たちの個性に寄り添いながら豊かな才能の開花を後押しすることを目指します。

#### キッズユースオープンキャンパス

芸術系大学の教授などが講師となり、大学のアトリエや工房、音楽ホール等を使って、子供たちが美術や音楽、演劇など、様々なジャンルでのものづくりや生演奏に触れ、つくる・表現する・思考する楽しさを実感できるプログラムを区部と多摩でそれぞれ実施します。

#### こどもファッションプロジェクト

身近なファッションや洋服を題材に、子供たちが洋服やデザインについて学び、モデルやスタイリスト、ヘアメイク、撮影などの役割に分かれて、楽しみながらファッションショーをつくり上げるまでを体験するプログラムを実施します。

#### ビジュアルアーツ クリエイションプログラム

教育機関等と連携し、子供たちがアート作品制作を通じて、社会課題等についても学びを深め、制作した作品を多くの人に鑑賞してもらえる形で発表することで、行動変容を引き起こすようなプログラムを実施します。

#### こども映画プロジェクト

子供たちが映画監督やスタッフと共に、撮影、編集などの制作に取り組み、完成作品を上映するまでの映画制作体験プログラムを実施します。

## 地域連携

地域社会を担う区市町村等と協働したプログラムの実施により、芸術文化活動への身近な参加機会を促進するとともに、地域課題に対応したコミュニティの形成や担い手育成等の環境整備を行います。

事業名	実施場所	実施時期（予定）
東京都・区市町村連携事業	都内5か所程度	未定
東京都内の区市町村と連携し、地域のニーズや課題に即した文化事業を住民に身近な場所で展開することで、芸術文化に気軽に触れられる機会の創出を目指します。		
拠点形成事業	都内各所	通年
区市町村、NPO、企業等の多様な主体との連携により、地域での文化創造拠点を形成し、地域で芸術文化活動に触れる機会を増やすことを目指します。		
事業名	実施場所	
カロクリサイクル	江東区 ほか	
被災を経験した土地に蓄積されてきた記録物（禍録）から地域の歴史を掘り起こし、それらに向き合う人々と共に表現を行う場をつくることで、災間期を共に生きるためのネットワーク形成を目指します。		
めとてラボ	台東区 ほか	
視覚言語（日本の手話）で話するろう者・難聴者・CODA（ろう者の親をもつ聴者）が主体となり、異なる身体性や感覚世界をもつ人々と共に、自らの感覚や言語を起点にしてコミュニケーションを創発する場をつくります。		
実践型地域連携事業（仮）	多摩地域	通年
東京都内の具体的な地域を舞台にリサーチや文化事業の実践のノウハウ等を学ぶ場をつくることで、地域での文化事業の担い手を増やすことを目指します。		
地域連携講座	都内	未定
自治体や財団職員等を対象とし、民間と行政のパートナーシップをテーマに、地域の文化事業における多様な連携づくりについての講座を実施します。		

### 3 東京の芸術文化の発信

東京における芸術文化の振興を目指し、フェスティバル等を実施するとともに、新たな東京文化の創造に取り組みます。

#### フェスティバル

伝統文化・芸能、ストリートダンス、アート等、多彩なフェスティバルの開催を通じて、多くの人が芸術文化に触れる鑑賞機会を創出し、東京の芸術文化の魅力を国内外に向け、広く発信します。

事業名	実施場所	開催時期（予定）
伝承のたまてばこ～多摩伝統文化フェスティバル 2026～	JR 八王子駅北口（西放射線ユーロード）ほか	2026年5月30日（土）・31日（日）
八王子市をはじめ、多摩地域の文化資源を活用して伝統文化・芸能に馴染みのない方々も気軽に親しめるフェスティバルを開催します。屋外ステージでの公演やまちなかでの体験コーナーなど、多彩なプログラムを実施します。		
東京大茶会 2026	江戸東京たてもの園	2026年10月～11月頃
	浜離宮恩賜庭園	
東京都内の庭園と野外博物館において、異なる茶道の流派が一堂に会する大規模な茶会を催します。趣のある会場で、茶道に馴染みのない方や外国の方など、どなたでも気軽にお楽しみいただける茶会を開催することにより、伝統ある「お茶の文化」とそれを育んできた「江戸・東京の文化」を、国内外へ広く紹介します。		
神楽坂まち舞台・大江戸めぐり 2026	神楽坂エリア	2026年5月16日（土）・17日（日）
伝統と現代が融合する神楽坂エリアの路上、寺社境内、能楽堂など、「まち」を舞台に、日本の様々な伝統芸能をだれもが気軽に楽しめるフェスティバルを開催します。		
六本木アートナイト 2026	六本木エリア	2026年10月31日（土）・11月1日（日）
様々な文化施設や商業施設が集積する六本木のまちを舞台に、アート作品、音楽、映像、パフォーマンスなどの作品を点在させ、非日常的な体験を創出するアートの饗宴。多様なプログラムを展開します。		
Shibuya StreetDance Week 2026	代々木公園	2026年11月23日（月・祝）
ストリートダンサーの聖地と言われる渋谷から、ストリートダンスの魅力や本質的な価値を様々な形で発信し、子供から大人まで幅広い層の方々が参加できるストリートダンスの祭典を開催します。		
へブンアーティスト事業	都内各所	通年
審査に合格したアーティストに公共・民間施設等を活動場所として開放することで、都民が気軽に芸術文化に触れる機会を提供します。		

## 4 芸術文化による共生社会の推進

人々の心の豊かさの基盤となる環境を創出し、共生社会の実現に取り組む芸術文化活動を推進します。

### クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー

芸術文化を通してウェルビーイングについて考え、多様な実践を展開するプロジェクトです。都立文化施設や文化事業、社会的課題に取り組むNPOや実践者等と連携し、これからの芸術文化に必要な取組を推進し、発信していきます。

事業名
クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー
言語・文化の違い、障害の有無等を超え、多様な人々とネットワークを醸成し、ウェルビーイングの創出に向けた調査・検証・開発に取り組みます。また、芸術文化による共生社会の実現に向けた取組を発信するとともに、先進的な事例を国内外に広めるため、「だれもが文化でつながる国際会議」を開催します。
芸術文化へのアクセシビリティ向上
都立文化施設等やアーツカウンシル東京で展開する文化事業等におけるアクセシビリティ向上に取り組み、だれもが芸術文化にアクセスしやすい環境を整備します。文化施設や文化事業に来館・参加するまでの情報提供やサービスの向上、公演・展覧会・プログラムの鑑賞・参加体験を豊かにするための取組の促進、障害当事者等多様な方の企画や運営への参画のための環境整備を推進します。また、アートと文化の担い手に向けた研修や助成等も展開します。
TURN LAND プログラム
福祉事業所・施設や社会的支援を行う団体がアーティストと共にアートプロジェクトを企画し、実践するプログラムです。プロジェクトの実践を通して多様な価値観や特性への理解を深めながら、より魅力的な活動を日常の中に生み出します。実施プロセスにはコーディネーターが伴走し、現場の状況に応じて運営をサポートします。地域との新しい関係性を構築することや、プロジェクトによる気づきを内外に伝え共有することを目指します。

## 5 先駆的取組の実践

時代や社会情勢の変化に応じた新しい取組を、分野や施設の枠を超えて実施します。

### TOKYO スマート・カルチャー・プロジェクト

都立文化施設における情報通信基盤整備や、データベース拡充等による収蔵品の利活用、デジタルを活用したプログラムの企画開発、最先端技術を活用した新しい鑑賞体験の創出などを一体的に推進し、「だれもが、いつでも、どこでも、芸術文化を楽しめる環境」を創出します。

事業名	実施場所
ICT 活用新規プログラムの開発	オンライン、東京都江戸東京博物館、江戸東京たてもの園、東京文化会館
<p>情報環境整備とデジタルアーカイブの公開を踏まえ、ICT を積極的に活用した新規プログラムの企画開発を行います。東京都江戸東京博物館、江戸東京たてもの園は、教育現場での収蔵品データ活用に向けたワークショップを行い、協働的な学びを通じて新たな価値と活用の展開を目指します。また、東京文化会館は、映像技術などを活用した音楽鑑賞サポートプログラムを実施し、新しい鑑賞体験を提供します。</p>	
デジタルアーカイブの充実	オンライン、都立文化施設等
<p>6つの都立ミュージアム（東京都江戸東京博物館、江戸東京たてもの園、東京都美術館、東京都庭園美術館、東京都写真美術館、東京都現代美術館）の収蔵資料を横断的に検索できるデータベース「Tokyo Museum Collection (ToMuCo) —東京都立博物館・美術館収蔵品検索」の運営を通じて、オープンデータ化に向けて取り組みます。このほか貴重資料のデジタル化、映像資料等のマイグレーション、3D データの公開・活用を実施します。</p>	

### シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]

アートとデジタルテクノロジーを通じて人々の創造性を社会に発揮するための活動拠点。実験と創作のための開かれたラボとして、多彩なプログラムを展開し、クリエイティブ×テクノロジーで東京をより良い都市に変える原動力となっていくます。

実施場所
シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]
<p>「Co-Creative Transformation of Tokyo—クリエイティブ×テクノロジーで東京をより良い都市に変える」を掲げ、5つのコアプログラム「アート・インキュベーション」「ショーケース」「ワークショップ」「キャンプ」「ミートアップ」を通して人々の創造性を触発するとともに、国内外の分野を超えた多様なパートナーと連携し事業を展開していきます。</p>

## 社会課題に応じたパイロットプログラム

芸術文化を取り巻く様々な社会課題に応じた新たな事業を創出します。

事業名	実施場所
近現代住宅建築の文化的活用・発信事業	未定（都内）
意匠性や歴史的価値を有する著名建築家による優れた住宅建築を文化振興や創造活動の場として都民に開きながら、保存につなげるモデル事業等を実施します。	

## 6 ネットワーク形成

国内外の芸術文化団体や文化施設・機関等とのネットワークの構築、芸術文化を通じた国際交流の促進に取り組みます。

事業名
アーツカウンシル・フォーラム
芸術文化分野において、今日のかつ重要なテーマを取り上げるフォーラムを開催。国内外のアーツカウンシル、芸術文化交流施設・機関、アーティストや研究者等のディスカッションを通じて、国際都市にふさわしい芸術文化活動の発信や議論の場となることを目指します。